

一般質問

市政を問う

定例会では、市政全般について議員から一般質問が行われます。今回は22人の議員が質問に立ち、40項目について行政の対応を質しました。掲載内容は、その要約です。 ※発言順に掲載

会議録の閲覧と検索

質疑や答弁などの詳細は、会議録で全文を確認出来ます。>第2回定例会の会議録は、8月下旬から図書館・市政図書室で閲覧出来ます。>会議録検索システムは、8月下旬から市議会のホームページで利用出来ます。

インターネット中継

本会議および常任・特別委員会の様子を市議会のホームページからご覧ください。>生中継は本会議当日のみ。>録画中継は、本会議当日の4日後(土曜・日曜日、祝日を除く)から。>スマートフォンやタブレット端末からでもご覧いただけます。

5 森沢美和子

(チームひの)

新しい市政の立て直しを！多様な就業機会の創出、多様な需要に応じる地域社会について労働者協同組合の活用について、日野市の課題解決について、

が、本法成立により後押しされ、地域のさまざまな活動が認知されやすくなり、多様な働き方の実現につながると思います。> 施行までの市の考えと今後の方向性を問う。> 多様な働き方や活動ニーズは、人口減少社会において重要なものと認識しています。今後は長期戦略ビジョンの策定の中で、地域での可能性や市民ニーズ、国の動向などの情報収集を行い、必要に応じて勉強会の実施などを検討します。

8 森久保夏樹

(チームひの)

日野市の監査体制の見直しについて

キャッシュレス決済導入状況と予定について。> キャッシュレス決済は、窓口での手数料支払いなどに有効と考えます。先進市の事例および支払い利用実績などを参考に推進します。> 現金決済に限定していませんが、電子マネー側の事情で現金決済のみとなるケースがあります。

11 鈴木洋子

(自由民主党)

自分らしく暮らせる健康長寿のまちへ

支える優しいまちへ。> コロナ禍における子ども食堂への支援を問う。> 子ども食堂連絡会において情報共有を行い、国や都からのコロナ対策や補助に関する情報提供などを継続します。> 家庭教育の取り組みを問う。> 第3次学校教育基本構想の理念の通り、市と教育委員会が連携し、子ども、家庭、学校、地域のつながり、学び合い、育ち合いを支援する取り組みを進めます。

1 近澤美樹

(日本共産党)

コロナ禍でこそ市民との「双方向」が欠かせない。「広報ひの」、1か月に1度だけの発行」は撤回を！

法状態を解消、「30年以内の撤退」を厳守せよ！> 30年以内撤退を問う。> クリーンセンター連絡協議会です承されたスケジュールに基づき、次期処理施設を検討します。> コロナ禍から市民のいのち、くらし、営業をまもるために。> 市の独自支援を問う。> 19歳、20歳の学生のいる世帯までひとり親家賃助成を拡充しています。

3 大塚智和

(公明党)

不正を許さない組織体制・内部統制基本方針・組織のコンプライアンス強化向上への取組について

6月1日に日野市職員等の内部通報に関する条例を施行し、制度の運用・周知を開始しました。> 浅川以南のまちづくりについて。> 南平丘陵公園全体の整備計画策定を問う。> 老朽化施設更新など再整備可否を検討します。> 南平一丁目丘陵地の市道における歩行者安全対策について問う。> 現地調査および日野警察署との協議の上、適切な手法を検討します。

6 白井菜穂子

(チームひの)

子どもの人権について子どもオンブズ・条例委員会の設置を急げ！

(仮称)子ども包括支援センターに設置すべきでは。> 子どもたちにとって相談しやすく、問題解決につながる仕組みとしてどのようなあり方が望ましいか、センターの開設を機に整理していきます。> ヤングケアラーの支援・救済方法を問う。> 実態調査を行い、問題点などの状況を踏まえた上で、子ども・教育の分野などと連携を図り、全庁的な体制で支援するための対応を検討します。> 子どもオンブズを

9 秋山 薫

(チームひの)

保育園の待機児童ゼロを目指す！さらなる質向上を目指そう！

保育園の今後の在り方について問う。> 保育需要を正確に把握するとともに、各施設が継続運営できるように需要と供給のバランスを見極め、必要な対応を検討し、市全体の保育の質の向上に取り組めます。> 日野市の緑を守るために、チップ車両の復活と炭化推進など諸力融合、再資源化の再検討を！> 剪定枝のチップ化や炭化活用について問う。> 可搬式のチップ化機械の運用など剪定枝の有効活用に向けた仕組みづくりを検討しています。> また、炭化は多様な利用用途や竹林の維持管理につながる手法と捉え、煙害や製品管理、活用ルーの確立など課題解決に向け調査研究します。

12 渡部 三枝

(日本共産党)

虐待のないまちへ

場所であり、虐待防止の観点からは早期発見のため早急な対応と連携、その背景、全体像を把握し適切なアドバイスをする。> ことが求められています。> 家庭、保護者の状況に寄り添った支援が必要であり、そのような役割を担っていると考えています。> 職員のスキル向上へ向けた研修などを問う。> 国や都が実施する専門研修に積極的に参加するとともに虐待対応は心理的負担を考慮し、2人以上で対応しています。

2 伊東秀章

(無党派)

猫の多頭飼育崩壊への市の対応を問う。> 猫の多頭飼育崩壊の事例について。> 猫の多頭飼育崩壊の事例について。> 猫の多頭飼育崩壊の事例について。

4 岡田旬子

(日本共産党)

コロナ禍でも、最善の保育を！市の認識を問う

都動物愛護相談センターやボランティア団体との具体的な連絡体制の強化・構築を進めます。> Society 5.0教育における日野市の取組および将来像について。> 「文理分断からの脱却」の取り組みを問う。> 文理分断脱却を見据え市内小・中学校では、地域の課題解決のため設定した問題を教科横断的な視点で解決する活動の充実を進めています。

7 新井ともはる

(無党派)

高齢者が暮らしやすい環境と「生活の質」の向上。早期発見、新たに始まった「認知症検診」

4月に新規事業としてスタートした認知症検診の受診率を上げるための工夫を問う。> 特定健康診断、後期高齢者健診と同様に誕生月に検診を受ける仕組みづくりや検診ができるか

10 奥野りん子

(無党派)

元副市長の2億4000万円が渡った手口を暴く！大坪市長は背任行為を市民に謝罪し再発防止に動け！

今年3月から計6回の委員会を開催し、事実関係の確認、ヒアリング対象者などを決めました。> 今後は、ヒアリングなどが行われる予定です。

13 峯岸 弘行

(公明党)

オンライン授業の環境整備について問う。> 学校や家庭での一人一台端末の活用ルールを決め、オンラインを活用した学びが継続できるように環境整備に努めます。> 障害者支援策について。> デフリンピック(聴

むこうじま保育園家賃前払い2億4千万円は建設費用の金利分の説明だが、金利は何%か。> 建物の建設資金を借り入れた場合の金利、5%で試算しています。> 障がい者施設と利用者間のトラブル解決に市は責任を持って！> 市内グループホームのトラブルに対する市の対応を問う。> トラブルの状況を整理し、詳細な書類などを添えて都に報告しました。

東京都パートナーシップ制度導入自治体ネットワークに加入し、令和4年度中の制度導入を目指します。